

参加無料

先着
300名
限定

子宮頸がんワクチンで
守れる女性の人生、
赤ちゃんの命

日時 2024年 鹿児島県民公開講座

9/8

会場 鹿児島県医師会館 4F 大ホール

日

14:00 (開場 13:30)
↓
17:00



柳 佐知アナウンサー



小林 裕明先生

プログラム

1.自己紹介&司会進行 柳 佐知アナウンサー 5分

2.講演 ① 「子宮頸がん患者の悲劇を繰り返さないために ~HPVワクチンの恩恵と誤解~」
小林 裕明先生(鹿児島大学医学部産科婦人科教授) 80分(事前回収質問への回答込み)

3.講演 ② 「大切にしたい自分の体 ~2度の子宮がんを経験して~」
原 千晶さん(タレント・婦人科がん患者会よつばの会代表) 50分

4.手記朗読 柳 佐知さん(フリーアナウンサー・子宮頸がん体験者) 10分

5.座談会 「子宮頸がん患者の苦しみと、予防の大切さについて」
柳さん × 原さん × 小林先生 25分



原 千晶さん

参加フォーム



小林教授への
質問もこちらから

共催 日本婦人科腫瘍学会 鹿児島大学医学部産科婦人科学教室 HPVワクチン接種に関する整備事業九州・沖縄ブロック拠点病院・九州大学病院

後援 鹿児島県医師会 鹿児島市医師会 鹿児島県産婦人科医会 鹿児島市産婦人科医会 鹿児島産科婦人科学会 株式会社翔栗



司会

柳 佐知

フリーアナウンサー、瀬上印刷株式会社取締役

第2代かごしま親善大使、元MBCキャスター。
現在、フリーアナウンサーとして司会や企業研修、話し方
レッスン、朗読コンサートなどを行う。
MBC ラジオ『わたしらしくクラシック』（日曜 17時半～）
出演中。

子宮頸がんに対する妊孕性温存ロボット手術を受け、術
後に妊娠するも流産した体験をもとに手記を出版し、市民
公開講座などで予防啓発の講演活動に取り組んでいる。

手記“あさひと生きる”



注文フォーム



原 千晶

タレント・婦人科がん患者会よつばの会代表

1974年北海道生まれ
1994年20歳の時に第21代クラリオンガールに選出され芸能界デビュー。
以降、TVや雑誌を中心にタレント、女優として活動。
2005年30歳の時に子宮頸がんを診断を受ける。
2009年12月、35歳の時に再び子宮にがんが見つかり、
2010年1月より手術と抗がん剤治療を受ける。
2011年7月自身のがん経験をもとに婦人科がん患者会「よつばの会」を設立。
現在ではがん啓発に関わるイベントや講演会に積極的に参加している。
著者に「がんと私、明日の私、キレイな私」(光文社)がある。

JAA日本アロマコーディネーター協会名誉理事
一般社団法人日本がんアピアランスケア協会理事



小林 裕明

鹿児島大学医学部産科婦人科教授

1985年 九州大学医学部卒業、同 婦人科学産科学教室入局
1987-91年 九州大学大学院生体防御医学研究所(学位取得)
1991-93年 カナダ トロント大学・博士研究員留学
2009年 九州大学医学部婦人科学産科学教室 准教授
2014年 鹿児島大学医学部産科婦人科学教室 准教授
2016年 同教授、大学病院 女性医療センター長併任
2020年 同大学病院 副院長／地域医療連携センター長 併任
同医学部 婦人科がん先端医療学講座(寄附講座) 教授 併任
2022年 同大学病院 ロボット手術初代センター長 併任

日本婦人科腫瘍学会(専門医・指導医、常務理事、2024年度学会長)
日本婦人科ロボット手術学会(理事長、2017年度学会長)
日本ロボット外科学会(理事、2021年度学会長)
日本産科婦人科内視鏡学会(常務理事、2025年度学会長)
日本産婦人科手術学会(常務理事、2021年度学会長)
アジア婦人科ロボット手術学会(理事、2025年度学会長) など